

**nichicon**

# 取扱説明書

## Power Mover<sup>®</sup> Lite

EV Power Station

EV パワー・ステーション<sup>®</sup>「パワー・ムーバー<sup>®</sup> ライト」

VPS-3C1A-Y / VPS-3C1A-B



このたびは、EV パワー・ステーション<sup>®</sup>「パワー・ムーバー<sup>®</sup> ライト」VPS-3C1A-Y / VPS-3C1A-B を  
お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。

また、保証書とともに大切に保管してください。

# もくじ

<b>本機の特長</b> .....	<b>4</b>
<b>安全のために必ずお守りください</b> .....	<b>4</b>
<b>取り扱い上のお願い</b> .....	<b>7</b>
<b>各部の名前と働き</b> .....	<b>8</b>
本体.....	8
給電コネクタ.....	9
操作パネル.....	10
<b>操作パネルの見方</b> .....	<b>11</b>
<b>給電を開始する</b> .....	<b>12</b>
<b>給電を停止する</b> .....	<b>15</b>
<b>その他の操作</b> .....	<b>16</b>
非常停止する.....	16
非常停止から復帰する.....	16
システムリセットする.....	16
エラー表示を確認する.....	16
エラー表示を終了する.....	16
<b>フィルタをお手入れする</b> .....	<b>17</b>
フィルタ（背面）の脱着手順.....	17
フィルタ（底面）の脱着手順.....	18
<b>本機の運搬方法</b> .....	<b>19</b>
本機を引いて運搬する.....	19
本機を持ち上げて運搬する.....	19
<b>保管・お手入れの方法</b> .....	<b>20</b>
長期間ご使用にならない場合.....	20
安全にご使用いただくために.....	20

<b>こんなときは</b> .....	<b>21</b>
コネクタがロックできない.....	21
電源が入らない.....	21
通電中から運転準備完了状態にならない (起動時に全ランプが点灯状態のままとなる).....	21
使用する電気機器の電源が入らない.....	21
運転中に一部の電気機器の電気が切れた (開始ランプが点滅し、運転状態ランプのいずれかが消灯している).....	22
運転が開始されない、または停止した (開始ランプが点滅し、使用可能目安ランプのいずれかが点灯している).....	22
運転が開始されない、または停止した (異常ランプが点滅している).....	23
給電コネクタが取り外せなくなった場合 .....	24
<b>接続確認済み車種および車種ごとの注意事項</b> <b>(2021年7月現在)</b> .....	<b>25</b>
接続確認済み車種一覧 .....	25
車種ごとの注意事項 .....	25
日産自動車(株) LEAF, e-NV200.....	25
三菱自動車工業(株) i-MiEV, minicab-MiEV, minicab-MiEV Truck, アウトランダー PHEV, エクリプスクロス PHEV.....	25
トヨタ自動車(株) プリウス PHV, MIRAI.....	25
<b>保証とアフターサービス</b> .....	<b>26</b>
保証について.....	26
アフターサービスについて.....	26
製品に関するお問い合わせ.....	26
<b>機器仕様</b> .....	<b>27</b>
本体仕様.....	27
本体外観図.....	27

# 本機の特長

本機は、電気自動車（EV）の蓄電能力、プラグインハイブリッド車（PHV）の発電・蓄電能力、燃料電池車（FCV）の発電能力を活用し、電気機器に電力供給を行う装置（V2L：Vehicle to Load）です。  
車両仕様により使用に制限が有る場合があります。

## ▶ 避難所の備え、企業のBCP、アウトドアのレジャー、各種イベント活動などに

万一の災害発生時に、EV、PHV、FCVなど先進のエコカーと本機を活用することで避難所では最低限の電気の確保が可能になります。

また、アウトドアのレジャーや各種イベント活動に使用することもできます。

## ▶ 簡単な操作で誰でもすぐに取り扱いが可能

簡単な操作で家電機器に電力を供給できます。また、伸縮式ハンドル・キャスター付きで、スムーズな持ち運びが可能です。

## ▶ 環境負荷の低減



同等出力のガソリン式発電機に比べ小型・軽量で環境負荷（排気ガス・騒音）は、非常に小さくなります。

# 安全のために必ずお守りください

## 安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できる場所に必ず保管してください。

ここに示した事項は、**⚠警告** **⚠注意**に区分しています。

 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される事項。
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う危険が想定される事項、および物的損害のみの発生が想定される事項。

絵表示については次のような意味があります。

	*必ずアース線を接続 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるように指示する表示		*感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
	*一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告		*分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	*一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示		

## ⚠ 警告



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、給電中の本機からの電磁波が、ペースメーカー、ICDの作動に一時的な影響を与える場合がありますので使用しないでください。  
給電中の本機に近づかないでください。なお、不用意に近づいた場合には、立ち止まらずに速やかに離れてください。  
本機本体及び給電コネクタに密接するような姿勢はとらないでください。  
本機を操作する必要がある場合は、他の方をお願いしてください。  
詳細は、一般社団法人日本不整脈デバイス工業会のホームページをご確認ください。

 **警告**



人命に直接かかわる医療機器などは接続しない  
身体の安全を損ねる場合があります。



給電コネクタを車両に接続する場合は、濡れないようにする  
感電・故障のおそれがあります。



分解・改造をしない  
装置が破損して、感電や火災の原因となります。



移動・運搬・車両への積み下ろし時に大きな振動や衝撃を与えない  
装置が破損して、感電や火災の原因となります。



無理な姿勢で運搬しない  
けがの原因となります。



子供を近づけない  
感電・やけど・火災のおそれがあります。



本製品の正面内部のパネルなど機器を開けない  
内部に電圧の高い部分があります。感電の恐れがあります。



悪路では移動しない  
けがの原因となります。



本機のふたの開閉時や強風時はふたでの手の挟み込みに注意する  
けがの原因となります。



給電コネクタケーブル、12V 電源ケーブル及び接続する電気機器のケーブルに引っかからないようにする  
装置が破損して、感電や火災の原因となります。



給電コネクタケーブル、12V 電源ケーブル及び接続する電気機器のケーブルの被覆が劣化、摩擦、破損しないようにする  
装置が破損して、感電や火災の原因となります。



お子様だけでは使わせない  
ケーブルが首に巻きついたり、コンセントを触ったりするなどして、けが・感電・やけどの原因となります。



吸排気口を触らない  
高温のため、やけどの原因となります。



水濡れ、浸水しないようにする  
装置が破損して、感電の原因となります。



ペット、お子様などがコンセント部を触ったり、なめたりしないようにする  
感電の原因となります。



濡れた手で触らない  
感電の原因となります。



コネクタの金属接点に触れない  
高い電圧が加わり、感電の原因となります。



アース線を接続する  
接続しないと、感電の原因となります。



運搬中に落下させない  
けがの原因となります。



上に乗ったり、座ったり、物を載せない  
装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。



吸排気口などに物（金属、紙、水など）を挿し込んだり中に入れたりしない  
火災・感電・故障の原因となります。



伸縮式ハンドルを使用して移動する時に足を踏んだり、手を挟まないように注意する  
けがの原因となります。



不安定な場所では使用しない  
装置が破損して、感電や火災の原因となります。



給電コネクタの落下に注意する  
装置が破損して、感電や火災の原因となります。



給電コネクタケーブル、12V 電源ケーブル及び接続する電気機器のケーブルを引っ張りすぎないようにする  
装置が破損して、感電や火災の原因となります。



人、自転車、車両などに給電コネクタケーブル、12V 電源ケーブル及び接続する電気機器のケーブルを踏まれないようにする  
装置が破損して、感電や火災の原因となります。



煙が出る、変なにおいがする場合は、本機を停止する  
そのまま使用すると、火災の原因となります。すみやかに販売会社にご連絡ください。



動作中に移動させない  
装置が破損して、感電の原因となります。



動作中に車両を移動させない  
装置が破損して、感電の原因となります。



汚れたり、濡れたプラグは使用しない  
火災・感電・故障の原因となります。

## 警告



**ふたの閉め忘れに注意する**  
内部の部品が落下し、けがの原因となります。



**車両のエンジンやマフラー近くでは使用しない**  
車両のエンジンやマフラーなど、熱くなる物に近い場所では使用しないでください。装置が破損して、火災の原因となります。



**可燃性ガスや引火物を近くに置かない**  
電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火する可能性があります。



**給電以外の用途に使用しない**  
火災・感電・故障の原因となります。



**シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品および殺虫剤を本体に吹き付けない**  
機器内部に侵入すると故障、発煙発火の原因になることがあります。



**コンセント部にプラグ以外のもの（針金など）を挿し込まない**  
感電の原因となります。

## 注意



**雨、雪など水のかかる状況では運搬しない**  
装置が破損して、感電や火災の原因となります。



**重い物を上に載せない**  
装置が破損する原因となります。



**直射日光のあたる場所には保管しない**  
装置が破損する原因となります。



**雨、雪など水のかかる場所での保管・使用はしない**  
装置が破損する原因となります。



**海水がかかったり、潮風が当たる場所での保管・使用はしない**  
装置が破損する原因となります。



**温泉、火山など、腐食性ガスがかかる場所には保管しない**  
装置が破損する原因となります。



**高温、多湿な場所には保管しない**  
装置が破損する原因となります。



**低温な場所には保管しない**  
装置が破損する原因となります。



**強電磁場な場所には保管しない**  
装置が破損する原因となります。



**砂、粉塵の多い場所での保管・使用はしない**  
装置が破損する原因となります。



**昆虫、小動物の多い場所での保管・使用はしない**  
装置が破損する原因となります。



**昆虫や小動物、ペットなどの糞尿がかかる場所には保管しない**  
装置が破損する原因となります。



**車両内には保管しない**  
装置が破損する原因となります。



**指定の方向以外では保管しない**  
装置が破損する原因となります。



**周波数の設定を間違えないようにする**  
接続した電気機器の破損、発煙、発火の原因となります。



**電気機器のプラグはコンセントに完全に挿し込む**  
挿し込みが不完全な場合、感電の原因となります。



**雷が鳴り出したときは、使用しない**  
落雷による感電などの恐れがあります。



**給電コネクタを無理に引き抜かない**  
装置が破損して、感電の原因となります。



**フィルタを清掃する**  
清掃し忘れると、装置が破損する原因となります。



**フィルタをつける**  
フィルタをつけ忘れると、異物が混入して装置が破損する原因となります。



**洗車時に洗剤や水がかからないようにする**  
洗剤や水が内部に侵入し、破損や感電の原因となります。



**溶剤や硬いブラシで清掃しない**  
装置が破損する原因となります。

## ⚠ 注意



装置を高圧洗浄機で洗淨しない  
感電や故障の原因になります。



ラベルを剥がしたり、色を塗ったりしない  
注意事項や操作方法を確認できなくなります。



廃棄処理・リサイクルについて  
使用后、すみやかに廃棄してください。廃棄する場合は、  
お買い上げの販売会社にお問い合わせください。  
廃棄費用はお客様負担となります。



駐車場所に注意する  
給電中にエンジンがかかる車両に接続する場合は、必ず  
屋外の風通しの良い場所に駐車してください。



本システムの近くでテレビやラジオ、無線など  
を使用しない  
テレビの画面が乱れる、ラジオ、無線に雑音が入ること  
があります。  
受信している電波の弱い場所では、電磁障害を受ける  
おそれがあります。



夏季の高温時や冬季の低温時に、給電コネクタ及  
び本体を素手でさわらない  
やけどの原因になります。



吸排気口を塞いだり吸排気口付近に荷物を置い  
たりしない  
温度上昇により本体が自動停止する可能性があります。



本システムや配線などから発生する電氣的雑音が  
近隣のアマチュア無線通信やラジオなどの受信に  
影響を与えることがあります。



機器に異常、破損、腐食、錆、ネジゆるみ、吸  
排気口ふさぎ、スイッチ破損、等がないか日常  
点検をする  
装置の故障の原因となります。

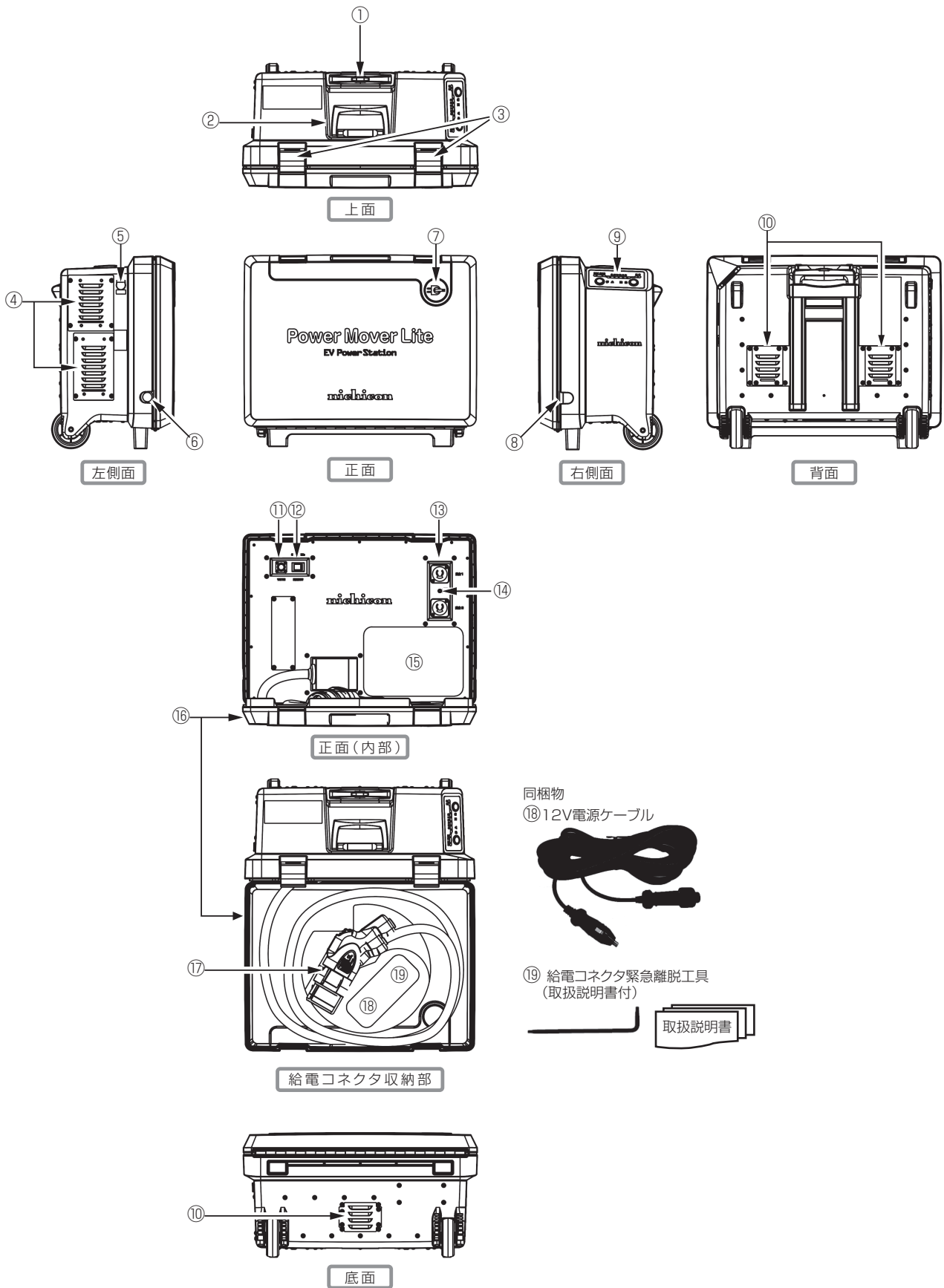
## 取り扱い上のお願ひ



- UPS（無停電電源装置）等、充放電機能を有する機器と接続する場合、事前に使用可能であることをご確認ください。  
UPS（無停電電源装置）等の仕様によっては本機の故障原因となる可能性があります。
  - 次のような場所では使用しないでください。
    - 標高 2000m より高いところ
    - 海水がかかったり、潮風が当たる場所
    - 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
    - 振動、衝撃の影響が大きいところ
    - 油蒸気のあるところ
    - 浸水の恐れがあるところ
    - 電界の影響が大きいところ
    - 風通しが悪いところ
    - 直射日光があたるところ、結露および氷結のあるところ
- ※ 次の温度範囲外のところでは動作が保証されません。  
温度：－ 10℃～＋ 40℃

# 各部の名前と働き

## 本体

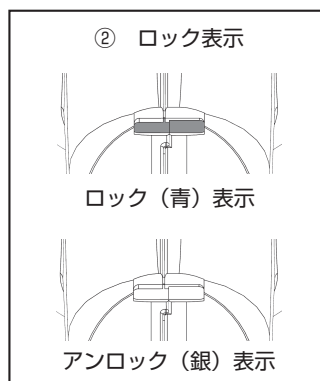
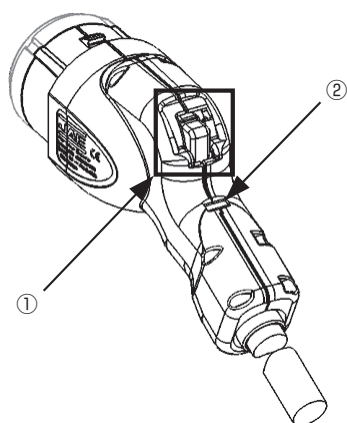




①	伸縮式ハンドル	本機を引いて移動させるときに持ちます。
②	ハンドル	本機を持ち上げるときに持ちます。
③	ロック部	正面のふたをロックします。
④	排気口	本機内部の熱を排熱します。
⑤	非常停止ボタン	動作を緊急停止します。
⑥	ケーブル入線口1	給電コネクタケーブル及び 12V 電源ケーブルを通します。
⑦	反射板仕様ラベル	暗い場所で目印になります。
⑧	ケーブル入線口2	接続する電気機器のケーブルを通します。
⑨	操作パネル	給電の開始、停止操作や動作状態の表示を行います。
⑩	吸気口	冷却するための空気を取り込みます。
⑪	12V IN	12V 電源ケーブルを接続します。
⑫	周波数切替スイッチ	接続する電気機器に応じた出力周波数 (50Hz ⇄ 60Hz) に切り替えます。
⑬	コンセント口(ロック付、2口)	接続する電気機器の電源プラグを挿し込みます。 (AC100V 15A 以下2口)
⑭	アース端子	大地にアースされている電気機器を接続する際に、本機を大地に接続します。
⑮	かんたん操作ガイド	本機を操作するとき参照します。
⑯	ふた	給電コネクタ、周波数切替スイッチ等を操作時に開閉します。
⑰	給電コネクタ	車両に接続し、車両のバッテリーから電力を取り出します。
⑱	12V 電源ケーブル	車両から起動用電源を取り出すためのケーブルです。 (車両により必要な場合があります。)
⑲	給電コネクタ緊急離脱工具 (取扱説明書付)	給電コネクタが車両の充電口から取り出せなくなった場合に、給電コネクタを取り出すための工具です。

## 給電コネクタ

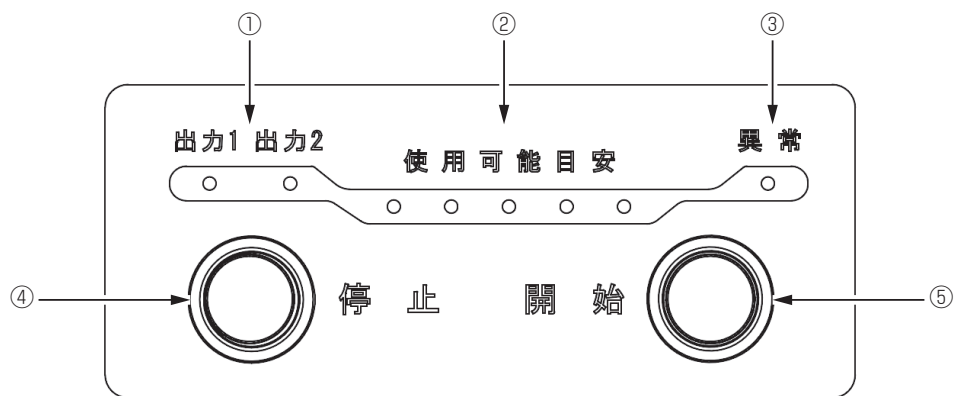
車両の急速充電口に接続するコネクタです。このコネクタを介して車両から給電を行います。



ロック (青) / アンロック (銀) 表示

①	リリースボタン	給電コネクタを引き抜くときに押します。
②	ロック表示	コネクタがロックされているかを表示します。

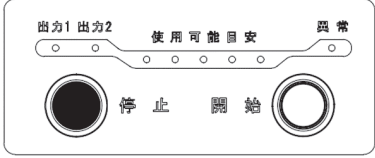
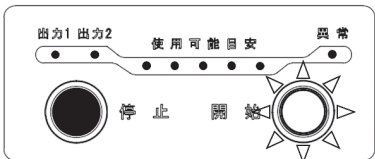
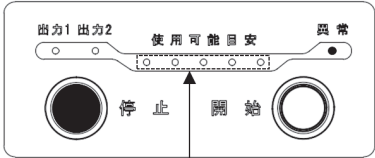
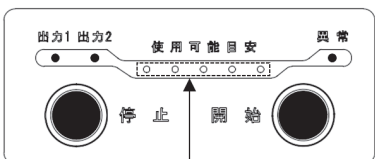
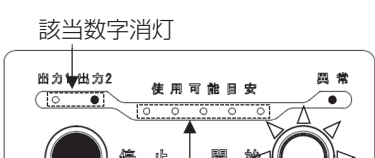
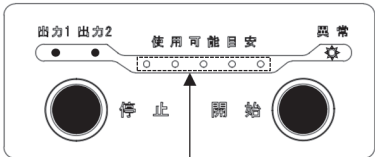
## 操作パネル



①	運転状態ランプ	運転状態を表示します。点灯している番号のコンセントが使用可能です。
②	使用可能目安ランプ	接続されている車両の給電可能目安を表示します。
③	異常ランプ	異常時に点灯します。
④	[停止] ボタン	給電を停止します。
⑤	[開始] ボタン (ランプ)	給電を開始します。

# 操作パネルの見方

○ : 点灯      ☀ : 点滅      ● : 消灯

操作パネルの状態	状態	内容
	通電中	電源が入りました。
	運転準備完了	開始ボタンを押せば、コンセントに電源を供給できます。
 <p>車両の給電可能目安に応じて表示</p>	出力中	コンセントに電源プラグを挿せば、電気機器が使用できます。
 <p>車両の給電可能目安に応じて表示</p>	停止準備中	運転を停止する準備をしています。
 <p>車両の給電可能目安に応じて表示</p>	過負荷停止中 または 高温停止中	電気の使用量がコンセント容量を超えたため、出力を停止しています。 または、本機の内部が高温になり出力を停止しています。 処置方法は、「運転中に一部の電気機器の電気が切れた」(22 ページ)の内容を確認してください。
 <p>停止理由に応じて表示</p>	異常停止中 または 非常停止中	異常が発生したか非常停止ボタンが押されたため、停止しています。 処置方法は、「運転が開始されない、または停止した」(23 ページ)の内容を確認してください。

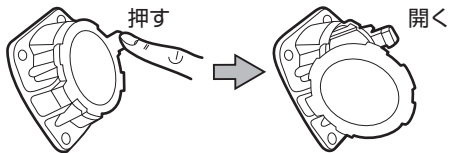
# 給電を開始する

車両との接続は、車両が停止した状態で行ってください。

車両はパーキング状態で、メーターパネルが消えた状態（POWER OFF\*）にしてください。

※車種により名称が異なる場合があります。車両の取扱説明書を参照ください。

## 1 車両を準備する

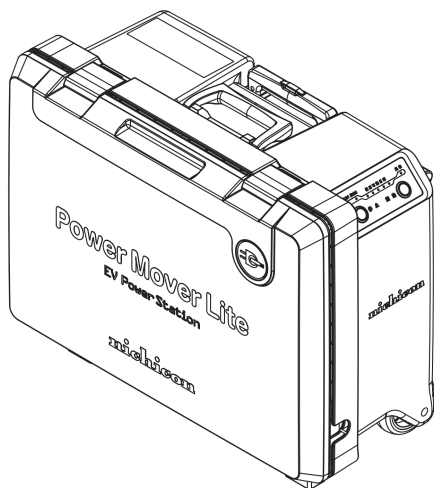


車両充電口

車両充電口

車両のシフトをパーキング（P位置）にします。「POWER OFF」にして車両の充電口を開きます。車両ごとに操作が異なるため、車両の取扱説明書をご確認ください。

## 2 本機を車両の充電口付近に下図の向きで置く



- 大地にアースされている電気機器を接続する場合は、本機も大地に接続してください。

### 警告

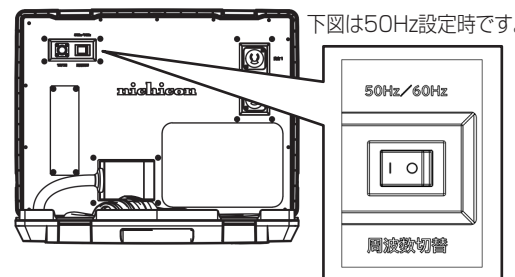
- 本体、ケーブルの破損やフィルタの目詰まりがないか点検してください。
- 水平で安定した場所で使用してください。
- 風通しの良い場所で使用してください。
- 車内やエンジン、マフラーの近くでは使用しないでください。
- 雨や雪など水がかかる場所、湿気の多い場所では使用しないでください。
- 直射日光のあたる場所では使用しないでください。
- 上図以外の向きでは使用しないでください。

## 3 ふたを開ける

- ロック部を開け、手の挟み込みに注意してふたを開けてください。

## 4 接続する電気機器に応じた出力周波数に設定する

- スイッチのI側が50Hz、O側が60Hzです。



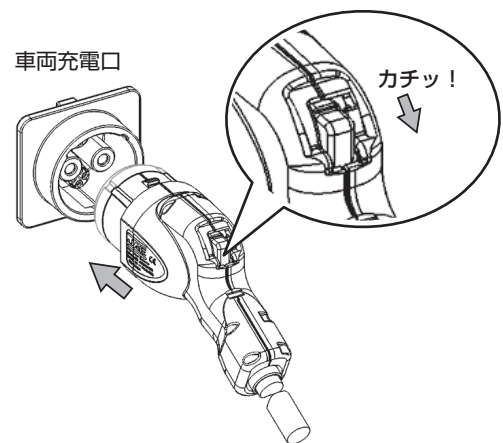
下図は50Hz設定時です。

### 警告



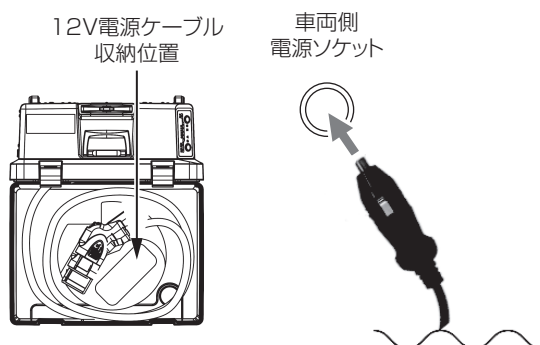
- 接続する電気機器の故障につながるため、必ず電源投入前に設定してください。

## 5 給電コネクタを車両の充電口に挿し込む



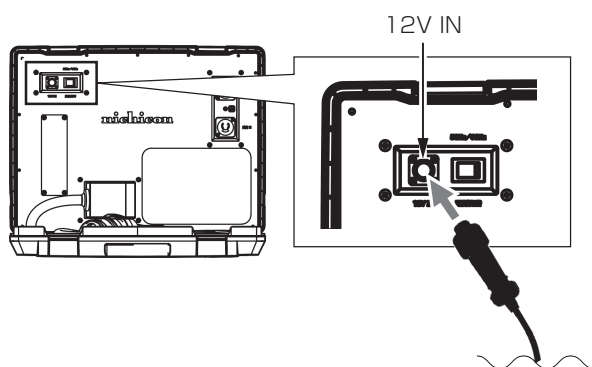
- コネクタを車両充電口の奥まで挿し込みます。「カチッ」と音がするまで挿し込んでください。
- 車両充電口にコネクタをしっかりと挿し込んで抜けを確認してください。
- 車両によっては、下記の手順6、7、9の操作が不要な場合があります。車両販売店にお問い合わせください。不要の場合は、手順8のみを行ってください。

## 6 車両の電源ソケットに 12V 電源ケーブルを接続する

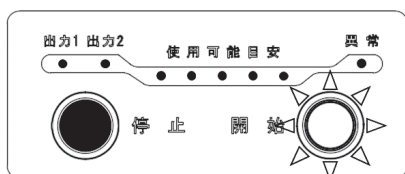


- 車両の電源ソケットに付属品の 12V 電源ケーブルを接続し、車両のパワースイッチを ACC (アクセサリ) にします。  
※日産 LEAF の場合はブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを 1 回押すと、ACC に切り替わります。その他の車種については、車両の取扱説明書を確認してください。
- 12V 電源ケーブルは本機の上図の位置に収納されています。
- 車両のドアは閉じた状態で、窓から 12V 電源ケーブルを外に出してください。
- 車両のソケットの位置および接続については、車両の取扱説明書を確認してください。
- 車両によってはこの操作が不要な場合があります。詳しくは車両をお買い上げの販売店にお問い合わせください。

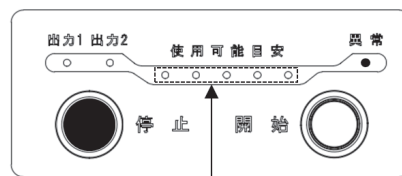
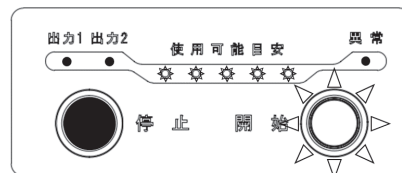
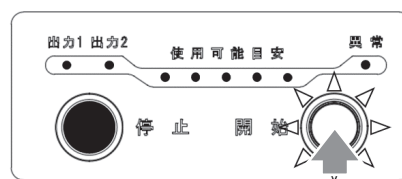
## 7 本機に 12V 電源ケーブルを接続する



- 本機正面内部の 12V IN に 12V 電源ケーブルを接続してください。
- 12V IN のふたは、左に回して手前に引くことで取り出せます。
- 使用時以外は常時 12V IN のふたをつけておいてください。
- 運転準備が完了すると、開始ボタンが点滅します。



## 8 開始ボタンを押す



車両の給電可能目安に応じて表示

- 開始ボタンおよび使用可能目安ランプが点滅から点灯に変わり、運転状態ランプが点灯すると給電開始となります。
- 開始ボタンは、硬いものや先が鋭利なもので押さないでください。
- 電気を使いすぎた場合や本機内の温度が高くなった場合など、保護機能が働いて運転を停止する場合があります。
- 運転中、本機に異常を感じた場合は、「こんなときは」(21 ページ) をご確認ください。

## 9 車両のパワースイッチを OFF にする

- 車両から給電状態を確認したあとで、車両のパワースイッチを OFF にします。12V 電源ケーブルは取り外してください。
- 車両の消費電力が多くなり、車両蓄電池が早く消費されてしまうため、給電確認後、車両のパワースイッチを必ず OFF にしてください。
- 車両によってはパワースイッチを OFF にすると、給電が停止する場合があります。その時はパワースイッチを ACC のままにしてください。詳しくは車両をお買い上げの販売店にお問い合わせください。

### ⚠ 注意



- 12V IN のキャップの閉め忘れに注意してください。

## 10 電気機器のプラグをコンセントに挿し込む

- コンセント口にプラグを挿した後、プラグを時計回りにひねるとプラグがロックされます。

### ⚠ 警告



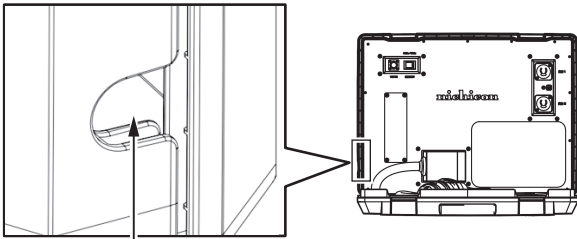
- 人命に直接かかわる医療機器などは接続しないでください。
- 濡れた手で挿し込まないでください。
- 汚れたプラグ、濡れたプラグは使用しないでください。
- プラグは完全に挿し込んでください。

### ⚠ 注意



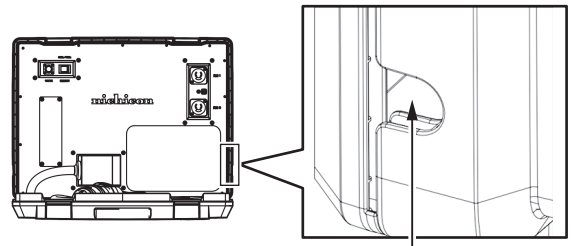
- 運転中は移動させないでください。
- ケーブルを踏んだり、引っ張ったりしないよう注意してください。
- 高温になるため、運転中は排気口にふれないでください。
- 出力1と出力2を直接つながないでください（並列運転はできません）。

## 11 ケーブル入線口1に給電コネクタケーブルを通す



入線口1

## 12 ケーブル入線口2に電気機器のケーブルを通す



入線口2

## 13 ふたを閉める

- ふたを閉めた後、ロック部を閉じます。

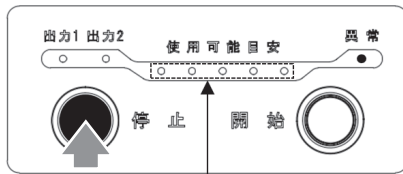
### ⚠ 警告



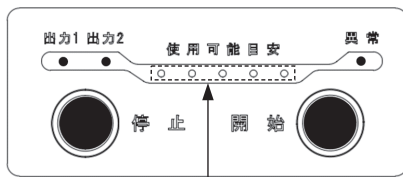
- 安全および防水のため、必ずふたを閉めロックしてください。
- 手の挟み込みに注意してください。
- 給電コネクタケーブル、接続する電気機器のケーブルを挟み込まないよう、ケーブル入線口1、2にケーブルがしっかりと通っていることを確認してください。

# 給電を停止する

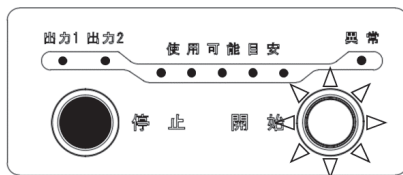
## 1 停止ボタンを押す



車両の給電可能目安に応じて表示



車両の給電可能目安に応じて表示



- 開始ボタンが点灯から消灯し、その後、点滅になると、給電コネクタの取り外しが可能となります。
- 停止ボタンは、硬いものや先が鋭利なもので押さないでください。
- 給電を停止した直後に再度給電を開始する場合は、運転準備完了状態（開始ランプが点滅）になるのを待ってから開始操作を行ってください。

### 警告

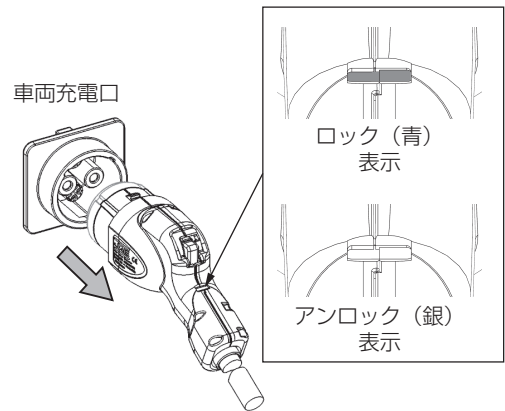


- 高温になっているため、停止後しばらくは排気口にふれないでください。

## 2 正面のふたを開け、コンセントから電気機器のプラグを抜く

- プラグを反時計回りにひねり、ロックを解除してからプラグを引き抜きます。

## 3 車両の充電口から給電コネクタを抜く



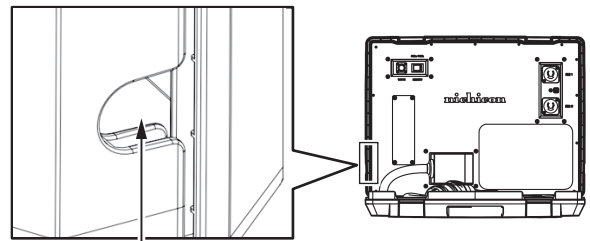
- ロック / アンロック表示が銀になっていることを確認します。
- コネクタの「リリース」ボタンを押しながら、コネクタを引き抜きます。

### 警告



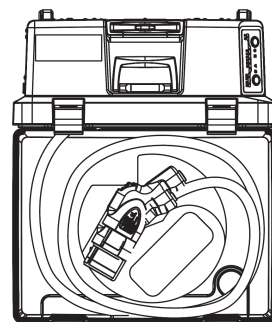
- ロックがかかっている状態（青表示）で給電コネクタを無理に引き抜かないでください。

## 4 ケーブル入線口1から給電コネクタケーブルを外す



入線口1

## 5 本機内に給電コネクタケーブルを収納する



## 6 ふたを閉める

- ふたを閉めた後、ロック部を閉じます。

### 注意

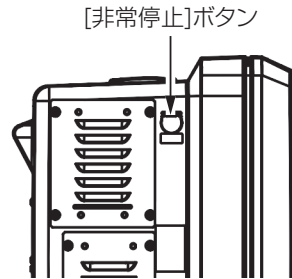


- ロックのし忘れに注意してください。
- 手の挟み込みに注意してください。

# その他の操作

## 非常停止する

本体操作パネルで停止ボタンを押しても停止しない場合、非常停止ボタンを用いることで、動作を停止させることができます。



## 非常停止から復帰する

非常停止ボタンを解除する場合は、非常停止ボタンが押されたままの状態になっていますので、再度非常停止ボタンを押し、元の状態に戻してください。その後、下記のシステムリセットを行ってから、開始手順（12 ページ）に従って開始操作を行ってください。

## システムリセットする

システムリセットを行って運転準備完了状態に戻します。まず、異常ランプが点滅していることを確認し、開始ボタンを押し続けます。2秒以上のうち、開始ボタンを押したままの状態でも停止ボタンも同時に押し続けます。3秒以上のうち、停止ボタンを押したままの状態でも開始ボタンから手を離し、停止ボタンのみを2秒以上押し続けます。システムリセットが完了すると、運転準備完了状態（開始ランプが点滅）に戻ります。

## エラー表示を確認する

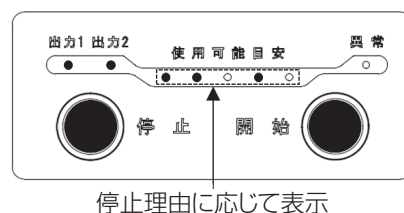
異常ランプが点滅している場合は、まず「こんなときは」（21 ページ）をご確認ください。症状が変わらない場合は以下の手順でエラー表示を確認し、弊社お客様相談室（26 ページ）にお問い合わせください。

**1** 異常ランプが点滅していることを確認する

**2** 停止ボタンのみを3秒間長押しする

- ・ エラー表示時は異常ランプが点灯します。

**3** 使用可能目安ランプの点灯位置を確認する



## エラー表示を終了する

エラー表示を確認した後、以下の手順でエラー表示を終了します。

**1** 異常ランプが点灯していることを確認する

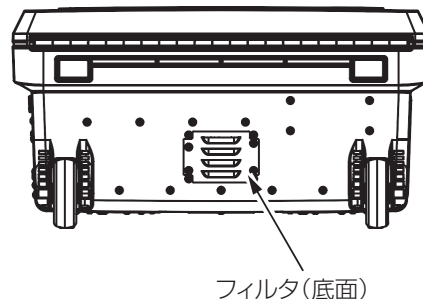
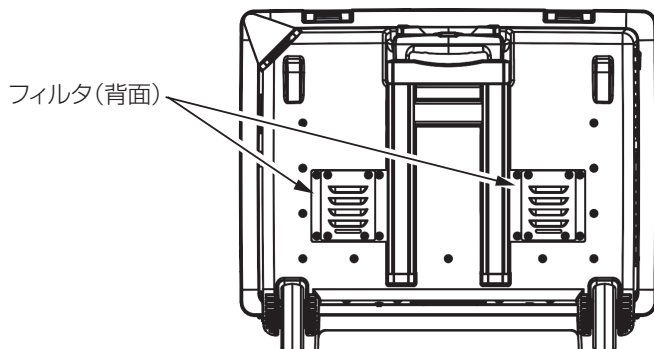
**2** 停止ボタンのみを3秒間長押しする

- ・ 終了すると異常ランプが点滅します。



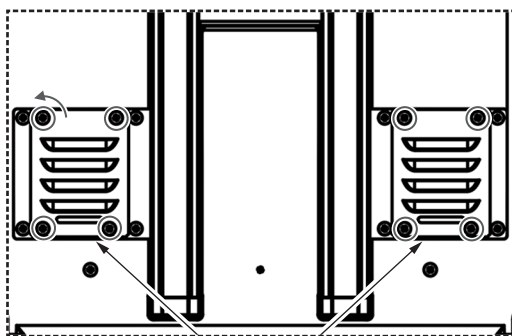
# フィルタをお手入れする

フィルタのお手入れの際、以下の手順でフィルタを脱着してください。  
フィルタは、本機の背面と底面についています。  
※プラスドライバーをご用意ください。



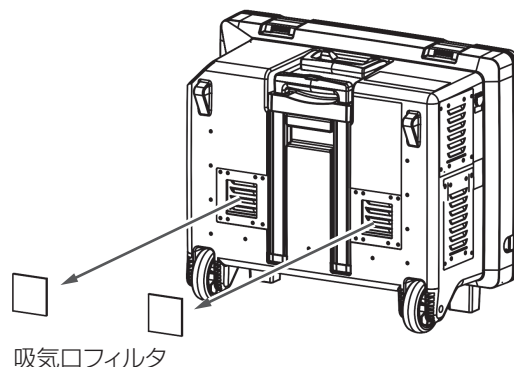
## フィルタ（背面）の脱着手順

- 1** プラスドライバーで背面のフィルタカバーのネジを取り外す（8か所）

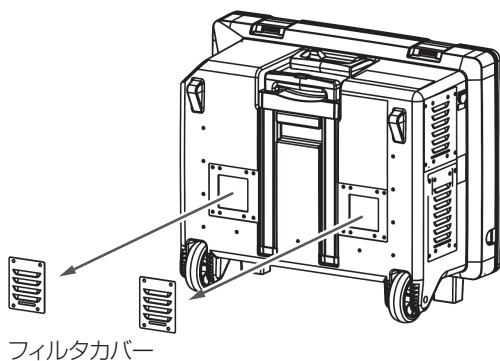


- 3** フィルタ（背面）を手前に引っ張って取り外す

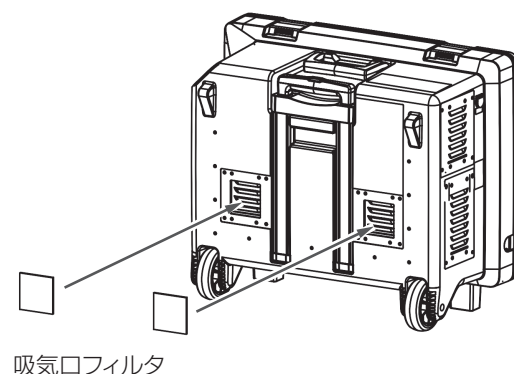
・フィルタを清掃し、目詰まりを取ってください。



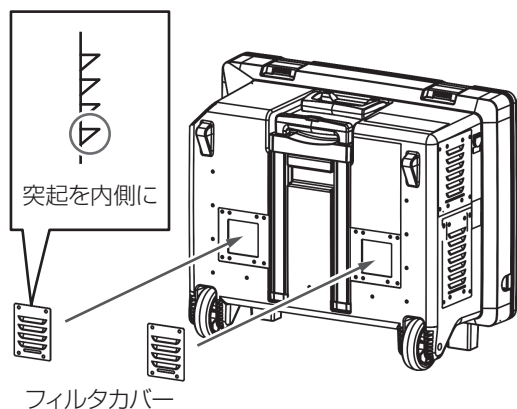
- 2** フィルタカバーを取り外す



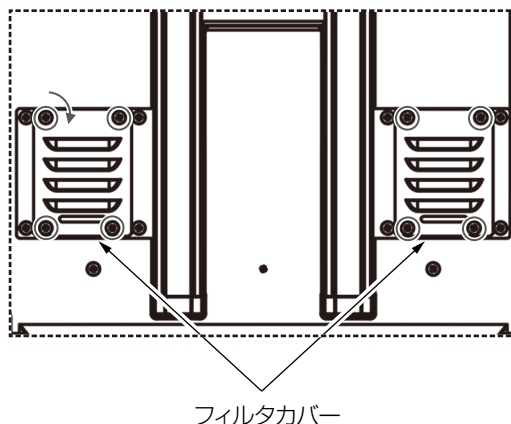
- 4** フィルタ（背面）を取り付ける



## 5 フィルタカバーを背面に押し当てる

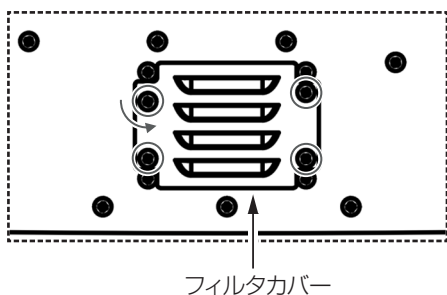


## 6 プラスドライバーを使って、ネジでフィルタカバーを背面に固定する（8か所）

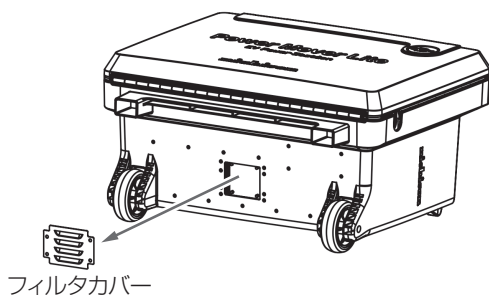


## フィルタ（底面）の脱着手順

### 1 プラスドライバーで底面のフィルタカバーのネジを取り外す（4か所）

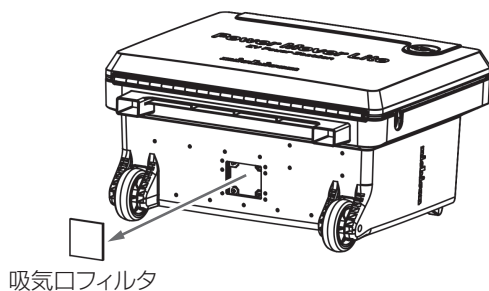


### 2 フィルタカバーを取り外す

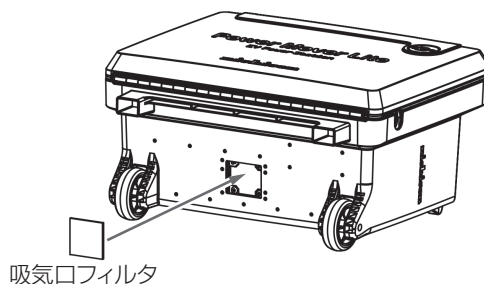


### 3 フィルタ（底面）を手前に引っ張って取り外す

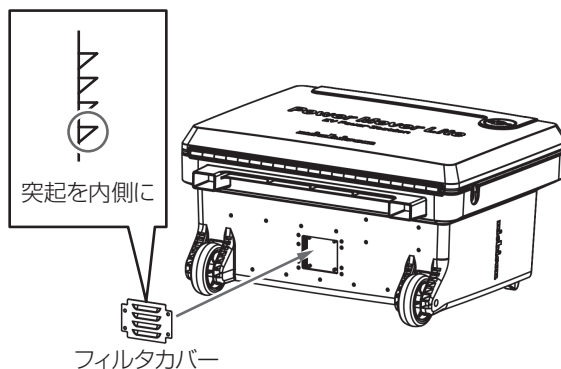
- ・ フィルタを清掃し、目詰まりを取ってください。



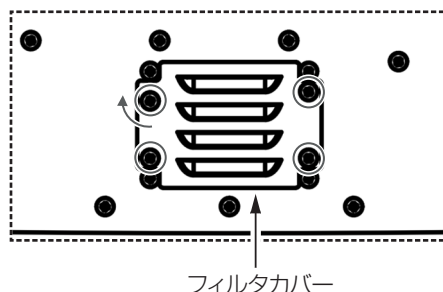
### 4 フィルタ（底面）を取り付ける



### 5 フィルタカバーを底面に押し当てる



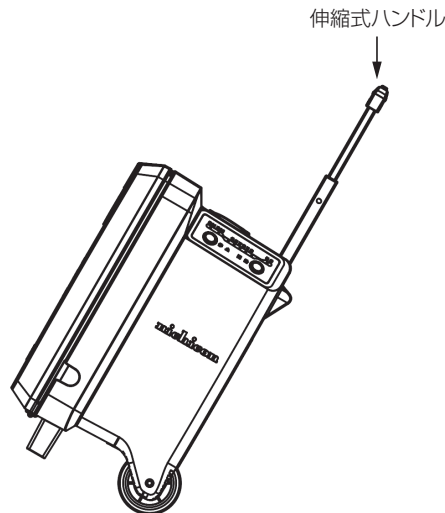
### 6 プラスドライバーを使って、ネジでフィルタカバーを底面に固定する（4か所）



# 本機の運搬方法

## 本機を引いて運搬する

本機上面の伸縮式ハンドルを伸ばし、引いて運搬します。



### ⚠ 警告



- 伸縮式ハンドルで本機を持ち上げないでください。伸縮式ハンドルはキャスター走行時のみご使用ください。本機を持ち上げる時は下記「本機を持ち上げて運搬する」をご確認ください。

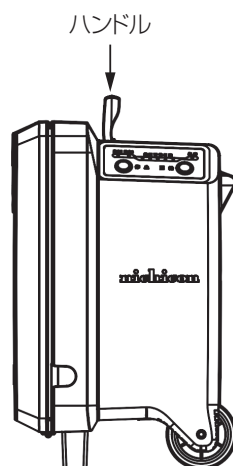
### ⚠ 注意



- 給電コネクタを収納し、本機のふたを閉じた状態にして運搬してください。
- 転倒させたり、衝突させたりしないよう注意して運搬してください。

## 本機を持ち上げて運搬する

本機上面のハンドルを握り、持ち上げて運搬します。



### ⚠ 注意



- 給電コネクタを収納し、本機のふたを閉じた状態にして運搬してください。
- ハンドルと本体の間で指を挟まないよう注意してください。
- 足の上に落とさないよう注意してください。
- 落下させたり、衝突させたりしないよう注意して運搬してください。

# 保管・お手入れの方法

- 本機停止後は十分に冷えてから片づけてください。

## ⚠ 警告



・ 故障の原因となるだけでなく、火災を引き起こす可能性があります。

- 本機の上に物を載せないでください。

## ⚠ 注意



・ 本機を傷つけたり、破損する恐れがあります。

- 汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。

## ⚠ 注意



・ 薬品、油類などを使用したり、本機を水洗いしないでください。内部の電気部品がショートする可能性があります。

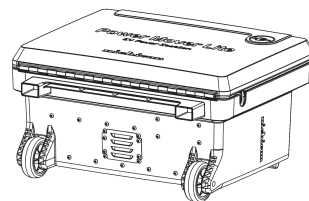
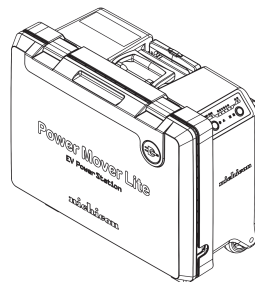
## 長期間で使用にならない場合

いつでも本機を活用できるように定期的な点検と動作確認をしてください。

- ・ 点検
    - 変形や破損などの異常がないか。
    - フィルタの汚れ、つまりがないか。
  - ・ 動作確認
    - 正常に給電動作するか（最低年 1 回 30 分程度の連続運転を実施してください）。
- 異常を感じた場合は「こんなときは」（21 ページ）をご確認ください。

## 安全にご使用いただくために

- 安全にご使用いただくために、フィルタのお手入れをしてください。
  - ・ フィルタにほこり、ごみなどが詰まっている場合は、水または中性洗剤で洗浄して自然乾燥させた後、再度取り付けてご使用ください。掃除機による吸引や油類の付着は避けてください。
- 高温多湿になる場所は避け、ほこりがたまらないように保管してください。
- 雨や水、雪がかかる場所には保管しないでください。
- 車両には保管しないでください。
- 指定された向き以外の姿勢では、保管しないでください。
  - ・ 本機は、平坦で安定した場所に下図の姿勢で保管してください。他の向きでの保管はしないでください。



- ・ 棚の上など、高所での保管はしないでください。
- ・ 給電コネクタを収納し、本機のふたを閉じた状態で保管してください。
- ・ 伸縮式ハンドルを収納した状態で保管してください。
- ・ 上に乗ったり、物を載せたりしないでください。
- 次のような場所には保管しないでください。
  - ・ 車両の中
  - ・ 温泉、火山など、腐食性ガスがかかる場所
  - ・ 海水がかかったり、潮風が当たるところ
  - ・ 直射日光のあたるところ
  - ・ 砂、粉塵の多いところ
  - ・ 水没の恐れがあるところ

# こんなときは

## コネクタがロックできない

- 車両の状態によってはコネクタロックができないことがあります。以下の項目を確認してください。
  - 車両はパーキング状態で、メーターパネルが消えた状態（POWER OFF）になっていること。
  - 普通充電コネクタが接続されていないこと。
- 冬季には凍結により、給電コネクタのロック機構が動作しないことがあります。その場合はぬるま湯をかける、もしくは、ドライヤーの風を当てて解凍してください。付着した水分は乾いた布などで拭き取ってください。

## 電源が入らない

- 車両が給電できる状態になっていない。
  - ・ 車両を給電できる状態にしてください。
  - ・ 車両の種類により操作方法が異なりますので、詳細は車両の取扱説明書をご覧ください。
- 給電コネクタが確実に接続されていない。
  - ・ 給電コネクタを車両の充電口に確実に接続してください。
- 12V 電源ケーブルが確実に接続されていない。（車両により不要な場合があります。）
  - ・ 12V 電源ケーブルを車両と本機の 12V IN に確実に接続してください。
- 12V 電源ケーブルのプラグ内のヒューズが切れている。
  - ・ ヒューズを交換してください。  
樹脂部先端を左に回すとキャップが外れ、ヒューズが取り出せます。



参考) 交換用ヒューズ仕様：  
ガラス管ヒューズ  
定格電圧 125V  
定格電流 6A  
サイズ  $\phi$  6.4 × 30mm

### ⚠ 注意



- ・ 指定以外のヒューズを使用しないでください。
- ・ 何も接続していないケーブル単体の状態で、ヒューズの確認・交換をしてください。

- ・ 開始手順（12 ページ）に従って開始操作をしてください。

## 通電中から運転準備完了状態にならない (起動時に全ランプが点灯状態のままとなる)

- 非常停止ボタンが押されたままの状態になっている。
  - ・ 再度非常停止ボタンを押し、元の状態に戻してください。システムリセット操作は不要です。

## 使用する電気機器の電源が入らない

- 電気機器の電源プラグがコンセントに完全に接続されていない。
  - ・ 電源プラグをコンセントに確実に接続してください。

## 運転中に一部の電気機器の電気が切れた (開始ランプが点滅し、運転状態ランプのいずれかが消灯している)

- 電気の使用量がコンセント容量を超えたため、保護機能が働いた。
  - ・ 消灯している番号のコンセントで使う電気を減らした後、開始ボタンを押してください。症状が変わらない場合は、給電を停止し、再度開始手順（12 ページ）に従って開始操作をしてください。
- ※ 電気を使いすぎると保護回路が働き、使いすぎのコンセントへの電気の供給を自動的に停止することがあります。一部の電気機器や電動工具・汎用モータ類など製品の種類によっては、コンセント 1 個あたりの消費電力が 1500W 以下であっても、起動時に大きな電流が流れ（瞬間電力が 1500W を超え）て使用できないものがあります。その場合は保護機能が働き自動的に停止することがありますが、故障ではありません。
- 本機の内部が高温になり、保護機能が働いた。
  - ・ 直射日光があたる場所では使用しないでください。風通しの良い場所で使用してください。使用環境を改善した後、開始ボタンを押してください。症状が変わらない場合は、給電を停止し、再度開始手順（12 ページ）に従って開始操作をしてください。また、フィルタの清掃を定期的に行ってください。

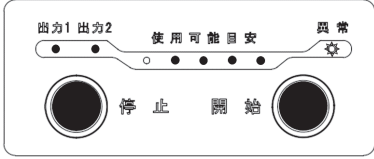
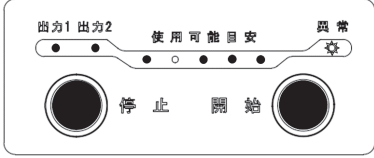
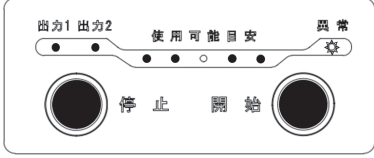
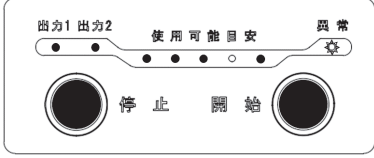
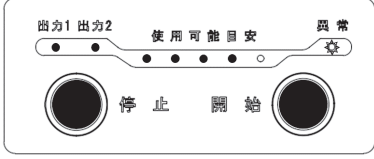
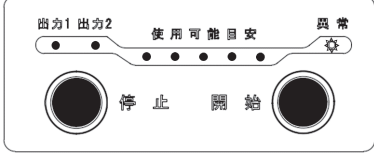
## 運転が開始されない、または停止した (開始ランプが点滅し、使用可能目安ランプのいずれかが点灯している)

○ : 点灯      ☀ : 点滅      ● : 消灯

操作パネルの状態	内容・処置
	接続している車両の電池残量が不足しています。車両を充電した後、ご使用ください。
	給電コネクタが確実に接続されていないか車両が給電できる状態になっていない可能性があります。給電コネクタを車両の充電口に確実に接続してください。また、車両を給電できる状態にしてください。車両の種類により操作方法が異なりますので、詳細は車両の取扱説明書をご覧ください。
	車両が給電できる状態になっていない可能性があります。車両を給電できる状態にしてください。車両の種類により操作方法が異なりますので、詳細は車両の取扱説明書をご覧ください。
	本機または車両が給電できる状態になっていない可能性があります。装置の電源を切った後、車両を給電できる状態にして、開始手順（12 ページ）に従って開始操作をしてください。車両の種類により操作方法が異なりますので、詳細は車両の取扱説明書をご覧ください。
	車両が本製品接続対応外です。

# 運転が開始されない、または停止した (異常ランプが点滅している)

○ : 点灯      ☀ : 点滅      ● : 消灯

操作パネルの状態	内容・処置
	<p>本機または車両に異常が発生した可能性があります。システムリセット（16 ページ）を行った後、開始手順（12 ページ）に従って開始操作をしてください。</p>
	<p>本機に異常が発生した可能性があります。システムリセット（16 ページ）を行った後、開始手順（12 ページ）に従って開始操作をしてください。</p>
	<p>本機または車両に異常が発生した可能性があります。システムリセット（16 ページ）を行った後、開始手順（12 ページ）に従って開始操作をしてください。</p>
	<p>コネクタロックが解除されていない可能性があります。再度給電を実施するとコネクタロックを解除できる場合があります。また、寒冷地でご使用されている場合はコネクタが凍結している恐れがありますので、ホットタオル等で温めて下さい。コネクタを早急に取り外す必要がある場合は緊急離脱（24 ページ）を行ってください。</p>
	<p>非常停止ボタンが押されています。16 ページの「非常停止から復帰する」を実施してください。</p>
	<p>本機または車両に異常が発生した可能性があります。システムリセット（16 ページ）を行った後、開始手順（12 ページ）に従って開始操作をしてください。</p>

## 給電コネクタが取り外せなくなった場合

- 給電が停止していることを確認してください（給電中はコネクタがロックされています）。
- 一度給電を実施すると外せる場合があります。開始手順（12 ページ）に従って給電をした後、給電を停止し、もう一度給電コネクタを取り外してください。

### <冬季の凍結について>

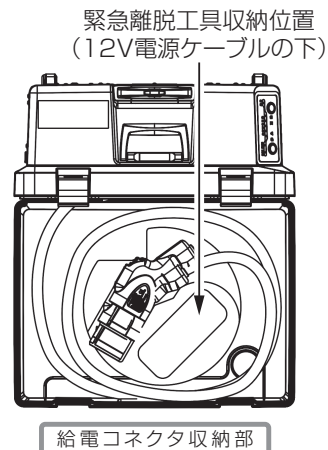
- 冬季には凍結により、給電コネクタが抜けないことがあります。その場合は無理に抜こうとせずに、給電を停止し、ぬるま湯をかける、もしくは、ドライヤーの風を当てて解凍してください。付着した水分は乾いた布などで拭き取ってください。

### <緊急離脱について>

緊急の場合は、付属の「給電コネクタ緊急離脱工具」を使用して給電コネクタを取り外すことができます。

- 緊急離脱を行った場合は、給電コネクタは利用できなくなるため、必ず弊社お客様相談室（26 ページ）にご連絡ください。
- 保証期間中であっても、不具合以外の要因で緊急離脱を行った場合のサービス対応費用はお客様負担となります。

※下図の収納位置にある緊急離脱工具の入った袋に取扱説明書が同封されています。



※「開封前に必ずお読みください」として下記を明示しております。開封された場合下記内容に同意されたものとみなします。

- 緊急離脱を行った給電コネクタは使用できなくなります。
- 緊急離脱を行った場合は弊社による点検と内部スイッチ機能の回復が必要となります。
- 本書の「安全のために必ずお守りください」を作業前に必ずお読みください。
- 本書の記載内容を熟読し、手順に従って作業を行ってください。

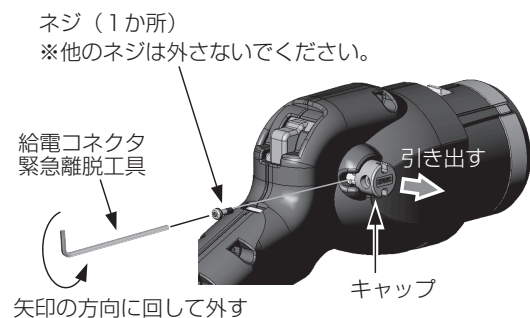
### <緊急離脱の手順>

作業前に以下を確認してください。

- 給電が停止していること。
- 操作パネルのLED ランプがすべて消灯していること。
- 12V 電源ケーブルが接続されていないこと。

## 1 給電コネクタ緊急離脱工具を使用してキャップのネジを外し、キャップを引き出す

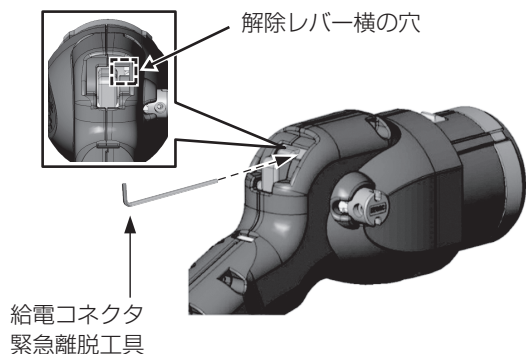
- この操作（キャップを引き出す）を行うと給電コネクタは使用できなくなります。弊社による機能の回復（有償）が必要となります。





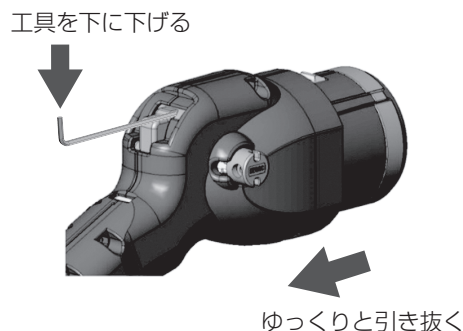
## 2 キャップを引き出した後、解除レバー横の穴に給電コネクタ緊急離脱工具を挿し込む

- 穴の下面に沿わずよう挿し込んでください。
- 奥まで挿し込まないと取り出しができない場合があります。



## 3 緊急離脱工具を下げながら、給電コネクタをゆっくりと充電口から引き抜く

- 緊急離脱を行うと給電コネクタは使用できなくなり、弊社による機能の回復（有償）が必要になります。取り外し完了後は、必ず弊社お客様相談室（26 ページ）にご連絡ください。



## 接続確認済み車種および車種ごとの注意事項(2021年7月現在)

2021年7月以降の車種については、弊社ホームページをご確認ください。  
内容は予告なく変更することがございます。

### 接続確認済み車種一覧

日産自動車（株）	LEAF, e-NV200
三菱自動車工業（株）	MiEV シリーズ, アウトランダー PHEV, エクリプスクロス PHEV
本田技研工業（株）	CLARITY FUEL CELL, CLARITY PHEV, Honda e
トヨタ自動車（株）	プリウス PHV (CHAdemo 放電対応車), MIRAI

### 車種ごとの注意事項

#### 日産自動車（株） LEAF, e-NV200

- 車両による電池状態確認のため、1日に10分以上運転を行わない時間を設けてください。
- EV-IT 機能を使用すると、日産 EV は放電対応車両であっても本機は放電非対応車と認識するおそれがあります。そのため、本機を接続している間は EV-IT 機能を使用しないでください。

#### 三菱自動車工業（株） i-MiEV, minicab-MiEV, minicab-MiEV Truck, アウトランダー PHEV, エクリプスクロス PHEV

- MiEV リモート、三菱リモートコントロールのタイマー充電機能およびプレ空調機能は普通充電中のみに使用できる機能であるため、本機での給電中は使用することができません。
- 「アウトランダー PHEV」、「エクリプスクロス PHEV」は、エンジンがかかった状態もしくはイグニッション ON の状態では本機による給電はできません。

#### トヨタ自動車（株） プリウス PHV, MIRAI

- CHAdemo 放電対応車種以外は、本機をご使用になれません。
- 「プリウス PHV」は、エンジンがかかった状態では本機による給電はできません。

# 保証とアフターサービス

## 保証について

保証内容については保証書に記載しています。  
保証書はサービスの際に必要なになりますので、大切に保管してください。

## アフターサービスについて

- ご不明な点や修理に関するご相談は、下記お客様相談室にお問い合わせください。
- お客様相談室にお問い合わせされる場合は、次のことをご知らせください。
  - ・ 装置の型式と製造番号  
※保証書添付のラベル、もしくは本体背面に貼られているラベルをご確認ください。
  - ・ ご購入時期
  - ・ 故障の場合は、故障状況（故障発生時の運転状況、ランプ類の点灯状態、エラー表示、発生日時や天候など）

## 製品に関するお問い合わせ

- 本製品の仕様に関するお問い合わせやご相談は下記窓口にご連絡ください。  
**ニチコン株式会社 お客様相談室**  
TEL. 0120-215-023（フリーダイヤル）  
受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）

# 機器仕様

## 本体仕様

項目	仕様	備考
製品名	EV パワー・ステーション®「パワー・ムーバー® ライト」	
型式	VPS-3C1A-Y (イエロー) / VPS-3C1A-B (ブルー)	
動作環境	屋内、屋外* <sup>1</sup>	
使用温度範囲	- 10 ~ 40℃* <sup>2</sup>	
入力電圧範囲	DC150V ~ 450V	DC230V 以下では「出力2」は使用不可
定格出力電圧・周波数	AC100V、50Hz/60Hz	周波数切替スイッチによる切り替え
定格出力電力	3.0kVA* <sup>2, 3</sup>	AC100V 15A コンセント×2口
効率	88%* <sup>4</sup>	
制御電源作動電圧範囲	DC10 ~ 16V	
給電コネクタ	IEC 62196-3 (CHAdeMO 方式)	ロック機構：自己保持型 ケーブル長 2m
冷却方式	強制空冷方式	
付属品	12V 電源ケーブル 長さ 5m 給電コネクタ緊急離脱工具 (取扱説明書付) 1 個 かんたん操作ガイド	
質量	約 21kg	
外形寸法	553mm(W) × 456mm(H) × 292mm(D) 突起部含む	

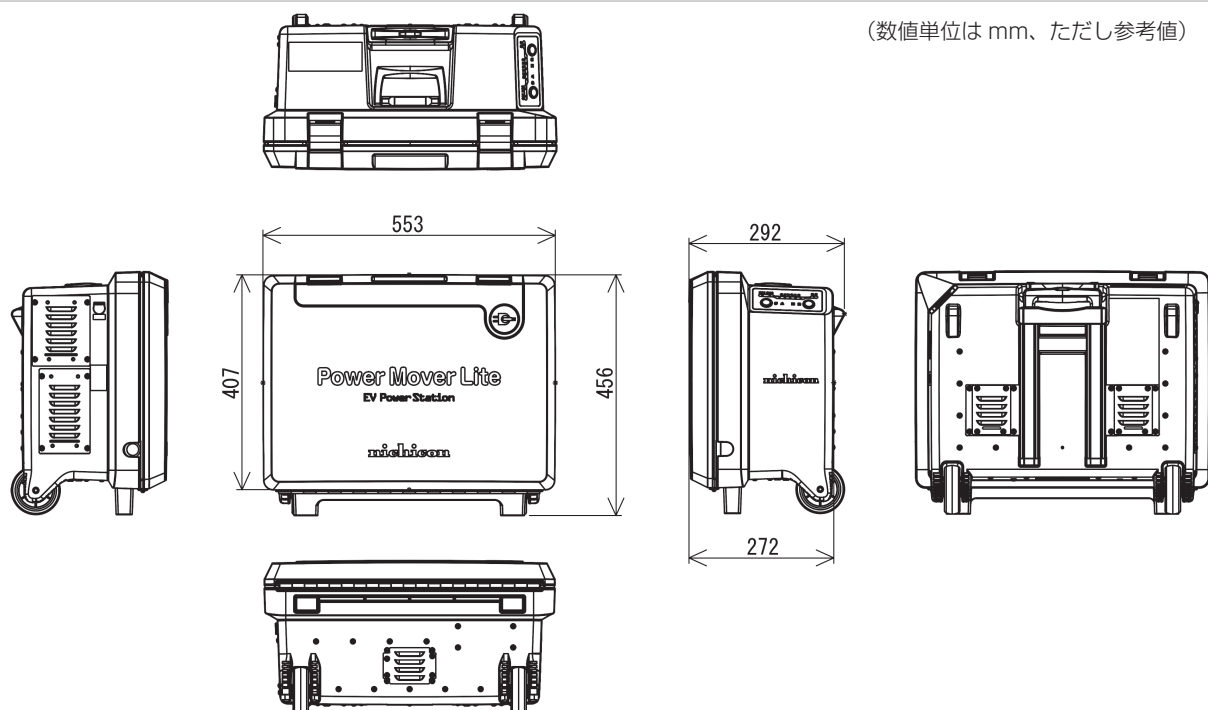
※1：雨天・濡れた場所で使用しないでください。高温多湿とならない風通しの良い場所で使用してください。

※2：ご使用の環境および電気の使用量により出力を停止する場合があります。

※3：DC230V 以下では「出力2」はご使用になれません。その場合、出力電力は 1.5kVA に制限されます。また、定格出力電力内であっても、動作開始時の電流が大きい電気機器等を接続されている場合は使用できない可能性があります。

※4：各々のコンセントの負荷が 1kW の時。

## 本体外観図



**nichicon**

京都市中京区烏丸通御池上る 〒604-0845

<http://www.nichicon.co.jp>

TP2176RMNLO1001